



全日本ロード男子エリートのゴールスプリントを制した土井

シクリスムエコー No.191 2012年4～6月合併号



第15回全日本自転車競技選手権大会ロード・レース..... 2

平成24年度 事業計画..... 4

2012年UCIトラック世界選手権大会..... 7

第15回ツアー・オブ・ジャパン..... 8

第81回全日本アマチュア選手権トラック・レース..... 11

第1回トラック・タイムトライアル・チャレンジ..... 11



第37回チャレンジサイクルロードレース大会..... 12

第59回全日本プロ選手権大会トラック・レース..... 14

JCF維持会員のお願い..... 15

広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内..... 15



第25回全日本MTB選手権大会..... 16

2012年全日本トライアル選手権大会..... 18

2012年UCI BMX世界選手権大会..... 19

各大会日本代表選手団..... 19

競技大会結果..... 20

連盟の動き..... 22

日本新記録..... 23

今後の大会予定..... 23

第15回ツアー・オブ・ジャパンphoto..... 24



日本が生んだ世界のスポーツ

KEIRIN



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringing-keirin.jp>



第15回全日本自転車競技選手権大会ロード・レース

男子エリート、土井が栄冠に輝く!

男子エリートのメイン集団



男子 U23 のメイン集団



男子エリート集団の新城



女子エリート1位萩原(中央)と2位與那嶺



男子 U17+U15 の先頭集団



男子 U23 優勝の安達



女子ジュニア優勝の齋藤



男子 U17+U15 のゴールスプリント



男子ジュニア優勝の高士

【競技結果】

第17回ジュニア全日本選手権ロード・レース (2012/4/28 岩手・八幡平)

男子ジュニア (126.4 km)

- 1 高士 拓也 三重 中央大 3:27:02
- 2 西村 大輝 東京 昭和第一学 3:27:04
- 3 徳田 優 京都 北桑田高 3:27:14
- 4 黒枝 咲哉 大分 日出陽谷高 3:27:22
- 5 沼口 竜馬 大分 日出陽谷高 3:27:22
- 6 吉田 優樹 福島 学法石川高 3:27:33



男子 U17 + U15 (79.0 km)

- 1 松本 祐典 京都 北桑田高 2:11:37
- 2 橋詰 丈 東京 昭和第一学 2:11:37
- 3 山本 大喜 奈良 榛生昇陽高 2:11:37
- 4 北野 龍人 富山 水橋高等学 2:11:39
- 5 早川 侑哉 埼玉 栄北高 2:11:52
- 6 花立 優希 岩手 紫波総合高 2:11:52



女子ジュニア (63.2 km)

- 1 齋藤 望 宮城 古川工高 2:04:58
- 2 江藤里佳子 大分 別府商高 2:05:02
- 3 坂口 聖香 兵庫 ReadyGoJ. 2:05:16
- 4 谷 伊央里 群馬 前橋育英高 2:05:59
- 5 柳本 愛奈 山梨 笛吹高 2:06:03
- 6 伊東 小紅 静岡 浜松学院高 2:06:11



第81回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロード・レース (2012/4/28 岩手・八幡平)

男子 U23 (173.8 km)

- 1 安達 康将 福島 日本大 4:41:46
- 2 面手 利輝 神奈川 神奈川県 4:41:53
- 3 和田 力 和歌山 日本大 4:41:58
- 4 布施 光 埼玉 順天堂大 4:42:29
- 5 倉林 巧和 群馬 日本体育大 4:42:40
- 6 石橋 学 青森 鹿屋体育大 4:42:56



第15回全日本自転車競技選手権大会ロード・レース (2012/4/29 岩手・八幡平)

男子U-23 (252.8 km)

- 1 土井 雪広 山形 ARGOS 6:55:38
- 2 増田 成幸 栃木 ブリッツェン 6:55:38
- 3 清水 都貴 JPCA BS アンカー 6:55:41
- 4 飯野 智行 群馬 ブリッツェン 6:55:52
- 5 西谷 泰治 愛知 愛三工業 6:55:57
- 6 鈴木 真理 千葉 Cannondale 6:55:57



女子U-23 (126.4 km)

- 1 萩原麻由子 和歌山 CB あさひ 3:46:32
- 2 與那嶺恵理 茨城 フォルツァ! 3:46:32
- 3 金子 広美 三重 伊之メアイベント 3:47:08
- 4 片山 梨絵 神奈川 Specialized 3:47:35
- 5 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 3:47:41
- 6 西 加南子 千葉 LUMINARIA 3:54:34



平成24年度 事業計画

財団法人 日本自転車競技連盟

我が国における自転車競技界を統括し、代表する団体として、寄付行為に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。

I. 事業計画概要

〔総務委員会〕

我々を取り巻く環境は、震災からの復興にやや明るい兆しは見えるものの、欧州の通貨危機や消費税導入に対する不安感も加わり引き続き低迷は否めない。

加えて、競輪補助金は23年度から自己負担金が総額の3分の1となり、連盟の決算も21年度からの単年度赤字を解消できていない。

我々は、このような厳しい状況を踏まえながらも、一歩ずつ着実な改善を目指すこととしたい。

そのために、諸経費の支出について昨年度に引き続き緊縮を図ると共に、自主財源の増額を企図し、ロンドンオリンピックの開催年度であることを踏まえ協賛企業の新規獲得に力を入れる他、収入増加に繋がる方策を講ずることとする。

さらに、評議員会、理事会及び常務理事会並びに各委員会を通して、適正・円滑な運営を図ると共に、平成25年11月末日を期限とする公益法人制度改革に対応すべく、公益財団法人として申請すべく鋭意検討を進めながら具体的な申請手続きを進めていくこととしたい。

〔広報委員会〕

本年度は、ロンドンオリンピック開催に伴う報道対応を中心に、自転車競技の魅力を一般に広く周知するため、以下の諸事業を実施する。

1. ロンドンオリンピック、パラリンピック

各種目の参加選手決定に伴う報道発表や、取材の問い合わせに対して、選手強化委員会や関係団体等と連携を図りつつ、迅速かつ確に対応する。過去大会での経験を踏まえ、今後とも報道機関と良好な関係を築いていく。

2. 広報誌「シクリズムエコー」

本年度は、単に大会の記録に止まらず、執筆者の協力を得て、より自転車競技の魅力を発信できる様な内容の充実を図り、イベント会場での配布、諸団体への配布を通じて広く自転車競技の啓発普及に

つなげたい。

3. ホームページ

大会結果速報等のタイムリーな情報発信に努めると共に、全日本の大会開催要項等の掲載や、自転車競技の魅力を一般の方にアピールできる様な情報発信に努めていく。

4. 全日本選手権等大会における報道対応
来場する報道機関に対して、各現場での迅速かつ適切な対応を心がける。

5. イベント出展等

サイクルモードへの出展等、様々な機会を捉え、広く一般の方へ自転車競技の魅力を発信していく。

〔競技運営委員会〕

全日本選手権大会の開催

国際自転車競技連合の管轄する自転車競技8種目（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）の全種目において全日本選手権大会を開催し、我が国における自転車競技の普及振興を図る。これら全日本選手権大会は日本国内における最高位の大会として相応しい、国際規則に準拠した高度で円滑な大会運営と高いコストパフォーマンスのバランスを追求しつつ、国際大会への派遣代表選手選考の機会としての設定するなど参加者のモチベーションを高く保つこととする。

また、各地方における大規模大会の実施が、当該地域における継続的な大会開催のきっかけとなるよう、大会運営ノウハウの蓄積と伝授に留意する。

審判・スタッフ等の研修・資格制度の充実

自転車競技の普及発展には安全で円滑に運営される大会数の充実が必要であり、それを担う高度な技量と経験を有する審判の育成が必須であり、引き続き公認審判員の育成に注力する。将来的に国際コミッセルとして執務可能な人材の育成にも長期的視点で取り組むものとする。

また大会運営のレベル向上には選手・審判のみならず参加するチーム・スタッフの基礎的知識・技能の向上も必須であり、既存の日本体育協会コーチ資格等ともリンクしながらチーム・スタッフのライセンス制度を確立し、より高次元での大会運営を目指す。

コーチ資格に関する対応

平成25年度 国民体育大会(東京国体)から、都道府県チームの監督は日本体育協会の有資格者であることが義務づけられる。平成23年度は5年ぶりに日本体育協会コーチ資格講習会を実施したところであるが、平成24年度も引き続き同講習会を実施するとともに、各都道府県連盟とも連携して指導者講習会を開催して、全都道府県において有資格者を監督として派遣可能な状態の実現を目指す。また資格取得の過程を通じて指導力の向上を果たすとともに、全国的なコーチ間のコミュニケーション・レベル向上を図る。

競技者ライセンス制度の充実

我国における自転車競技の普及発展に必要な登録競技者数の増大と、登録者向け大会数の増大に向けて、すでに制度化されているビギナー向け大会における臨時登録制度の活用とともに、ビギナー・若年層が登録しやすい仕組の拡充を図る。

パブリシティへの対応

競技大会運営にあたっては、安全・公平・公正なる運営を旨としつつも参加者・観客視点を尊重し、より多くの人々から共感を得て我国における自転車競技の普及発展に寄与することを目指すとともに、新たな競技者の登録へのきっかけづくり、メディアへの露出度向上を通じた各面からの支援・協賛の増大に配慮する。

2020東京オリンピック招致への取り組み

2020年東京オリンピックの開催は、東京・日本におけるスポーツの日常化に対して大なる寄与が期待される。自転車競技においても、東京での本格的ロードレースの開催、トラック競技場、BMX競技場の整備など、今後の普及発展につなげてゆく良い機会であり、オリンピック招致に積極的に取り組んでいく。

〔選手強化委員会〕

本年度は、第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)が7月27日～8月13日に開催されることから、前々回アテネ大会、前回北京大会に続く3大会連続メダル獲得に向け、選手強化合宿を積極的に行い選手強化に努める。

トラック競技については、主要国際大会の標準となる250m木製室内型競技

場が、昨年10月静岡県・伊豆市に「伊豆ベロドローム」としてオープンし、ここを拠点に強化合宿を積極的に実施し、ロンドンオリンピックでのメダル獲得に努める。

また、4月に開催されるチャレンジ・サイクル・トラックレース等を通じて、2016年リオデジャネイロ大会に向けた選手の発掘、育成に努める。

ロード競技については、海外合宿を積極的に実施し、ロンドンオリンピックでのメダル獲得に努める。その他国際大会においては、U23の選手を中心としてナショナルチームを編成し、国内合宿並びに国際大会へ積極的に派遣し選手強化に努める。

MTB・BMXについては、日本サイクルスポーツセンターを合宿拠点として活用し、ロンドンオリンピックでのメダル獲得に努める。

ジュニア競技者の強化については、全国高等学校体育連盟と連携を密にし、国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化、育成に努める。

女子競技者の強化については、本年度も国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化、育成に努める。また、女子競技者においては他種競技団体との連携を密にし、次々回リオデジャネイロオリンピックに向けた選手の発掘に努める。

〔アンチドーピング委員会〕

昨今のツールドフランスでのドーピング違反報道は、まるで自転車競技といえばドーピングというイメージを持つくらいスポーツ界のみならず、一般社会全体に与える影響が大きいと思われる。このことは本連盟にとっても非常に重要な意味を持つものであり、決して対岸の火事的捉え方をするのではなく真摯に受け止め、ドーピング防止策を進めていかなければならない。

具体的には、ドーピング防止、抑止力の核をなす二本の柱、「大会検査」、「啓発活動」を活動の軸にすえて事業を実施したい。**検査の実施と検査体制の充実**

・JADA 派遣 DCO との協同作業

国内で開催される各種目ごとの全日本選手権（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）において検査を実施する。検査の実施に当たっては、検査の国内統括機関であるJADA（日本アンチドーピ

ング機構）の協力の下、JADA 派遣 DCO（ドーピング・コントロール・オフィサー）と本連盟アンチドーピング委員会推薦の DCO とで検査を担当する。本連盟アンチドーピング委員会のみで検査を行っていた以前と異なり、JADA 派遣 DCO と協同作業することにより、検査の公平性、客観性を保つことができる。

・シャペロンの増員、継続性

WADA 規定、UCI 規定両面からも大会検査におけるシャペロンの役割が重要になってきている。具体的には、対象選手をよりきめ細かく監視するためには人数の増員が不可欠であり、さらにはそれらのシャペロンが多くの試合を経験するということが重要である。

啓発活動の充実

啓発活動の充実を図るには、講習会の開催が必要であるがアンチドーピング委員会単独で開催することは現実的には難しく審判講習会等と一緒にするなどの工夫が必要である。また、選手、指導者対象に開催される講習会へ積極的に講師の派遣を計りたい。さらに、現在すでに JCF ホームページによる UCI 規則の改訂、禁止薬物等に関する問い合わせ、広報を行っているが、これをさらに充実し選手・監督からの要請に応えたい。具体的には WADA、UCI の競技規則改定があった際、選手・監督がより理解しやすいように改正点を抽出するなどして掲載する。将来的には、大会参加者に対して、ホームページに掲載してある重要事項をプリントアウトさせて受付を行う方法も有効と考えられ、実現化に向けたホームページの課題の整備、改善を計る。

次に、本連盟所属の RTPA 選手は現在 7 名いるが、これまでは問い合わせがあれば質問に答える形であったり、所属チームまかせの面があった。今後は、本連盟アンチドーピング委員会の責任として事務局を通して行う。

最後に、昨年度も北海道大学薬学部を通して分析を行っている使用薬物リストの分析を本年も引き続き行い、分析結果をアンチ・ドーピング啓発活動に供したい。

〔国際推進部会〕

本連盟によるチーム派遣のみならず個々のチーム、競技者、審判員らによる多様な国外競技活動や、国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の

体制の整備など、多年にわたり国際的活動は増加し続けている。

この状況下、わが国と世界、特にアジア圏の自転車競技の健全な継続的發展に資するために、国内、国外から評価される高いブランド力が求められる。

そのために国際的競技大会の質を高め、さらに国内大会に反映させるためにも、国際的な情報の収集、共有、発信とともに優れた制度の導入も含めた実践も重要である。

これらのことを踏まえて、国際推進部会は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘・養成・登用、資料・文書の 2ヶ国語（日本語・英語）化、国内外の情報の収集、対外（国内外）的な情報の蓄積および公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化および国際化に必要な事項の実践のための施策を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者/関係団体/関係国との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

II. 実施事業

1. 国内競技大会関係事業

- ①全日本自転車競技選手権大会
（トラック、ロード、個人TTロード、Jrロード、室内自転車、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX、トライアル）
- ②その他国内大会
（全アマトラック、全アマロード、JOC ジュニアオリンピックカップ、全国都道府県対抗、チャレンジ・サイクル・トラック）
- ③国内大会委員会調査事業費

2. 国内での国際競技大会

- ・日韓対抗学生自転車競技大会

3. 国際競技大会関係事業

- ①世界選手権自転車競技大会
（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車、シクロクロス、Jrトラック）選手派遣
- ②ワールドカップ大会選手派遣
- ③国際グランプリケイリン選手派遣
- ④アジア自転車競技選手権大会
（トラック、ロード、マウンテンバイク）選手派遣
- ⑤ロンドンオリンピック大会派遣支援
- ⑥国際会議への派遣

4. 加盟団体関係事業

(1) 都道府県連盟関連事業

- ① 全国地域別道路競走大会 (8地域)
- ② 全国地域別トラックレース大会 (8地域)
- ③ 全国都道府県別自転車競技選手権大会 (47都道府県)

(2) 日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

- ① 全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ② プロサイクリスト選手強化
- ③ プロサイクリスト国際競技大会

(3) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業

- ① 全国高等学校選抜自転車競技大会 (トラック、ロード)
- ② 全国高等学校自転車競技合宿 (ブロック・全国)
- ③ チョンジュ MBC 国際ロードレース派遣

(4) 日本学生自転車競技連盟関連事業

- ① 全日本学生選手権自転車競技大会 (トラック、ロード、チームロード)
- ② 全日本大学対抗選手権自転車競技大会

(5) 全日本実業団自転車競技連盟関連事業

- ① 全日本実業団対抗サイクリロードレース大会

- ② 全日本実業団自転車競技選手権大会
- ③ 東西地域別実業団(トラック、ロード)
- ④ 全日本実業団サイクリロードレース in 石川大会

5. アンチドーピングの推進事業

全日本選手権大会等主要大会において、ドーピング検査を実施し、アンチドーピングを積極的に推進する

6. 強化事業

- (1) 強化合宿
- (2) 国内合宿基地等維持費
- (3) コーチ・スタッフの整備等
- (4) 競技用機材等整備

7. 普及事業

- (1) 全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会
- (2) 自転車競技の普及・広報
- (3) 加盟団体ケイリン種目普及
- (4) 広報誌発行事業
- (5) チャレンジ・サイクリロードレース大会
- (6) 未登録者推進に係るシステム改修
- (7) 広報 (宣伝、現地報道対応)

(8) アンチドーピング活動事業

Ⅲ. 共催事業の実施

- (1) 第15回ツアー・オブ・ジャパン (自転車月間推進協議会他)
- (2) ツール・ド・おきなわ2012 (NPO法人ツール・ド・おきなわ協会他)
- (3) ツール・ド・北海道2012 ((財)ツール・ド・北海道協会)
- (4) シマノ鈴鹿国際ロードレース大会 ((株)シマノ)
- (5) 平成24年度全国高等学校総合体育大会 ((財)全国高等学校体育連盟、新潟県)
- (6) 第67回国民体育大会自転車競技会 (文部科学省、(財)日本体育協会、岐阜県他)
- (7) 日本スポーツマスターズ2012自転車競技 ((財)日本体育協会、高知県他)
- (8) 第8回全国ジュニア自転車競技大会 (四日市サイクリスポーツフェスティバル実行委員会)
- (9) 第4回全日本ステージ・レース in いわて (NPO法人岩手県バイコロジーをすすめる会)
- (10) 第14回 TOUR de 熊野 (NPO法人スポーツプロデュース熊野)
- (11) 2012 ジャパンカップサイクリロードレース大会 (宇都宮市、NPO法人ジャパンカップサイクリロードレース協会)

収支予算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	日本体育協会 補助事業特別会計	国際競技力 向上事業特別会計	札幌・札幌 事業特別会計	JKA・公益補助 事業特別会計	スポーツ振興基金 事業特別会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
① 基本財産運用収入	950,000	0	0	0	0	0	0	950,000
② 特定資産運用収入	70,000	0	0	0	0	0	0	70,000
③ 会費収入	25,555,000	0	0	0	0	0	0	25,555,000
④ 事業収入	45,800,000	0	0	0	0	0	0	45,800,000
⑤ 補助金等収入	76,035,000	6,000,000	26,560,000	4,446,000	288,900,000	65,204,000	0	467,145,000
⑥ 負担金等収入	5,550,000	0	8,288,000	0	0	15,978,166	0	29,816,166
⑦ 寄付金収入	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000
⑧ 雑収入	2,801,000	0	0	0	0	0	0	2,801,000
⑨ 他会計からの繰入金収入	22,000,000	0	5,000,000	0	78,967,000	0	0	105,967,000
事業活動収入計	179,261,000	6,000,000	39,848,000	4,446,000	367,867,000	81,182,166	0	678,604,166
2. 事業活動支出								
① 事業費支出	23,200,000	6,001,000	39,848,000	3,200,000	367,867,000	81,182,166	0	521,298,166
② 管理費支出	74,894,000	0	0	0	0	0	0	74,894,000
③ 他会計への繰入金支出	87,461,000	0	0	22,000,000	0	0	0	109,461,000
事業活動支出計	185,555,000	6,001,000	39,848,000	25,200,000	367,867,000	81,182,166	0	705,653,166
事業活動収支差額	△ 6,294,000	△ 1,000	0	△ 20,754,000	0	0	0	△ 27,049,000
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
① 特定資産取崩収入	8,994,000	0	0	0	0	0	0	8,994,000
投資活動収入計	8,994,000	0	0	0	0	0	0	8,994,000
2. 投資活動支出								
① 特定資産取得支出	1,700,000	0	0	0	0	0	0	1,700,000
投資活動支出計	1,700,000	0	0	0	0	0	0	1,700,000
投資活動収支差額	7,294,000	0	0	0	0	0	0	7,294,000
III 予備費支出								
① 予備費支出	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
当期収支差額	0	△ 1,000	0	△ 20,754,000	0	0	0	△ 20,755,000
前期繰越収支差額	259,425,804	7,201,285	3,585,629	23,029,522	0	0	0	293,242,240
次期繰越収支差額	259,425,804	7,200,285	3,585,629	2,275,522	0	0	0	272,487,240

2012年UCIトラック世界選手権大会

チームスプリント4位、ケイリン渡邊5位



【競技結果】

2012年UCIトラック世界選手権大会
(2012/4/4-8 オーストラリア・メルボルン)

男子スプリント

- 1 BAUGE Gregory FRA
- 2 KENNY Jason GBR
- 3 HOY Chris GBR
- 11 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本 1/8F 敗退
- 20 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島 1/16F 敗退
- 28 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木 予選敗退
- 31 新田 祐大 JPCA JPCU 福島 予選敗退

男子1kmタイムトライアル

- 1 NIMKE Stefan GER 1:00.082
- 2 D'ALMEIDA Michael FRA 1:00.509
- 3 VAN VELTHOOVEN Simon NZL 1:00.543
- 12 新田 祐大 JPCA JPCU 福島 1:02.623
- 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本 DNS

男子ケイリン

- 1 HOY Chris GBR
- 2 LEVY Maximilian GER

- 3 KENNY Jason GBR
- 5 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島
- 12 新田 祐大 JPCA JPCU 福島

男子オムニウム

- 1 OSHEA Glenn AUS 22p
- 2 BELL Zech CAN 28p
- 3 HANSEN Lasse Norman DEN 29p
- 19 西谷 泰治 愛知 愛三工業 109p

男子チームスプリント

- 1 オーストラリア 43.266
- 2 フランス 43.267
- 3 ニュージーランド 43.812
- 4 日本 雨谷・渡邊・中川 43.896

女子500mタイムトライアル

- 1 MEARES Anna AUS WR 33.010
- 2 WELTE Miriam GER 33.626
- 3 VARNISH Jessica GBR 33.999
- 18 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 35.668

女子スプリント

- 1 PENDLETON Victoria GBR
- 2 KRUPECKAITE Simona LTU
- 3 MEARES Anna AUS
- 22 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 1/16F 敗退
- 27 石井 寛子 東京 予選敗退

女子3km個人追抜競走

- 1 SHANKS Alison NZL 3:30.199
- 2 HOUVENAGHEL Wendy GBT 3:32.340
- 3 ANKUDINOFF Ashlee AUS 3:33.593
- 19 田畑 真紀 JPCA 大分 3:44.501
- 20 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 3:44.644

女子スクラッチ(10km)

- 1 PAWLOWSKA Katarzyna POL
- 2 HOSKINS Melissa AUS
- 3 DRUYTS Kelly BEL
- 9 田畑 真紀 JPCA 大分

女子ポイントレース(25km)

- 1 CHULKOVA Anastasia RUS 31p

- 2 GLAESSER Jasmin CAN 28p
- 3 RYAN Caroline IRL 24p
- 12 田畑 真紀 JPCA 大分 4p

女子オムニウム

- 1 TROTT Laura GBR 28p
- 2 EDMONDSON Annette AUS 31p
- 3 HAMMER Sarah USA 36p
- 14 加瀬加奈子 新潟 日本競輪学校 79p

女子チームスプリント

- 1 ドイツ WR 32.549
- 2 オーストラリア 32.597
- 3 中国 32.870
- 14 日本 前田・石井 35.301

女子団体追抜競走

- 1 イギリス WR 3:15.720
- 2 オーストラリア 3:16.943
- 3 カタ 3:19.529
- 12 日本 加瀬・田畑・上野 3:31.165

※ WR=世界新記録



この上ない、快適を。

歴史に裏打ちされた高い技術力と、ニーズを捉えた商品開発力で、
自転車を愛する全てのサイクリストのライディングをサポート。

www.pearlizumi.co.jp

株式会社 パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2

第15回 ツアー・オブ・ジャパン

チーム NIPPO 大暴れ!



KEIRIN 00
この大会は競輪の補助金を受けて実施されました

第1ステージ(堺 5月20日)

大阪・堺の大仙公園周回コース。天候は曇だが、多くの来場者が周回コースや、いこいの広場イベントスペースを埋め尽くした。

1周 2.65km のコースを使い、午前中から堺国際クリテリウムレース、J.B.C.F クリテリウムレースが行われ、その後 13 時 40 分より第1ステージ「個人タイムトライアルレース」が行われた。

個人タイムトライアルは、30 秒ごとに選手が一人ずつスタートして、1 周のタイムを競う競技で、スタート時の風の状況やコーナーでのライン取りで数秒のタイム差が出る緊迫感のあるレース。

今日のタイムも総合時間に関係することもあり、選手はこの大会のスタートダッシュを切るための重要なステージとなる。

その結果、ウィル・クラーク (CSS) が唯一 3 分 20 秒を切り 1 位、キャメロン・ワーフ (CSS) が 2 位、チャン・ジンラ (HKG) が 3 位となった。なお、日本人トップは西谷泰治 (AIS) が 4 位となった。

15th TOUR OF JAPAN

第2ステージ(美濃 5月22日)

「卯建(うだつ)」と呼ばれる、建物に装飾のある古い町並みがスタート地点。9 時 15 分パレードがスタート、長良川を渡って周回コースに入り正式レースが開始される。

序盤、チャンピオンシステム・プロサイクリングチームがコントロールしながら集団を引っ張る展開。細かなアタックが繰り返されるも、集団のまま 2 周目に入る。

大矢田補給ポイント付近で数名の選手がアタックし、1 回目の山岳賞は 1 位 畑中勇介 (SMN)、2 位 中村誠 (BLZ)、3 位 齊藤祥太となる。

アタックをきっかけに上位 2 名はそのまま差を拡げていく。集団とのタイム差は最大 3 分まで開くが、残り 2 周で集団が 2 名を吸収する。

最後は、常に集団をコントロールしていたチーム NIPPO のマキシミリアーノ・リケーゼがゴールスプリントを制して優勝。2 位にはマトリックス・パワータグのマリウス・ヴィズィアック、3 位にはジェネシス・ウェルス・アドヴァイザースのショー・パトリックが入る。日本人では西谷泰治が 6 位に入った。

第2ステージ終了時点の個人総合時間賞・個人総合ポイント賞はマキシミリアーノ・リケーゼ、個人総合山岳賞はシマノレーシングチームの畑中勇介となっている。なお、チーム総合はチャンピオンシステムが 7 秒差で首位を守っている。

第2ステージ、長良川沿いを走る集団





第3ステージ(南信州 5月23日)

飯田駅前を8時45分にスタート。天竜川沿いをパレードし、周回コースに入る。

数名の攻撃が繰り返される中、集団が大きく2つに分かれる。

先頭集団をコントロールしたのは、このレースもチーム NIPPO だった。終盤 13 名に絞られた先頭集団の中に 3 名を送り込み、残り 2 周の上りでアタック。4 名に絞られた後、機を見てジュリアン・アレドンド・モレノとフォルツナー・バリアーニが抜け出し 1・2 フィニッシュ。チーム NIPPO の力を見せつける形となった。日本人ではシマノレーシングチームの鈴木謙が 6 位に入った。

第3ステージ終了時点の個人総合時間賞はジュリアン・アレドンド・モレノ、個人総合ポイントはマキシミアノ・リケーゼ、個人総合山岳賞は畑中勇介、団体総合は NIPPO となった。

第4ステージ(富士山 5月25日)

5 合目では、スタート前から小雨が降り始め気温も下がり、ヒルクライムでの過酷なレース展開を予感させる状況の中、ふじあざみライン入口を 10 時にスタート。

スタート直後はジェネシス・ウェルス・アドヴァイザーズが集団をコントロール。その後先頭を清水都貴(BS)が引いていく。

徐々に雨も激しくなり、残り 5km



第4ステージ序盤、清水(左端)が積極的に集団を引く

付近では集団が 11 名に絞られる。11 名から徐々に人数が絞られていく中、クリス・バトラー(チャンピオンシステム)とチーム NIPPO の二人、ジュリアン・アレドンド・モレノとフォルツナー・バリアーニが抜け出す。

残り 3km 付近でフォルツナー・バリアーニがアタック。リーダー・ジャージのジュリアン・アレドンド・モレノも追走するが、徐々に差は開いていく。

霧の立ちこめるゴールに最初に飛び込んだのはフォルツナー・バリアーニ。トップから 19 秒差でリーダー・ジャージのジュリアン・アレドンド・モレノが入り、第3ステージ同様 NIPPO の 1・2 フィニッシュとなった。3 位には 58 秒差でクリス・バトラーが入った。日本人最高位は 6 位の増田成幸(宇都宮)。

本ステージ終了後の個人総合時間賞と個人総合山岳賞はフォルツナー・バリアーニ、個人総合ポイント賞はマキシミアノ・リケーゼ、団体総合は NIPPO となった。

第5ステージ(伊豆 5月26日)

サイクルスポーツセンターの 5km サーキットと周囲の道路を組み合わせた 12.2km の TOJ 特別コースで、上り下りが繰り返されるタフなコース。また、総合争い関わる選手達にとっては、ほぼ最後のチャンスとなる重要なレース。

9 時 30 分のスタートは、各選手・チームが周りの出方を伺う静かなものとなった。

序盤、集団のスローペースから 10 名の選手が抜けだし、先頭集団を形成。セカンドグループと 1 分以上の差をつける。セカンドグループをコントロールするのはチーム NIPPO。チームとして確実なレース運びを見せる。

ペースの上がらないセカンドグループから福島晋一(トレンガヌ)が単独で先頭集団を追走、先頭集団は 11 名となる。先頭とセカンドグループのタイム差は最大で約 3 分に広がる。

レースが動いたのは残り 3 周。セカンドグループのペースが上がったこと、先頭集団が徐々にばらけたことから一時集団が一つになる。

先頭は 25 名でラスト 1 周に突入。山岳賞ポイントを過ぎた所で 3 名がアタックし 2 名が追走する。

先頭 5 名はシュー・ガン、ジャオ・



第5ステージ、競輪学校 333mトラック(左)と屋外 250mトラック(手前)の間を通る集団

ペンダのチャンピオンシステム 2名とワン・カンポー、ヤン・インホン・ロナルドのホンコンチーム 2名とブレイズ・ソノリー (BS)。

残り 1km でヤン・インホン・ロナルドが積極的に仕掛けてワン・カンポー

をアシスト。最後のゴールスプリントはワン・カンポーがしっかりと制し、区間賞を獲得した。

個人総合時間賞はフォルッナート・バリアーニが守り、個人総合ポイント賞はマリウス・ヴィズィアック、個人総合山岳賞

はジュリアン・アレドンド・モレノとなり、団体総合は NIPPO が守った。

第6ステージ (東京 5月 27日)

11時に日比谷シティ前をパレードスタート。大井埠頭周回コースを 14

周する 112.7km のコース。

個人総合ポイントの上位はポイントが僅差のため、序盤から激しいスプリント勝負が展開する。3回のスプリントポイント全てでポイントを獲得した西谷泰治が 44ポイント、マリウス・ヴィズィアックが 40ポイント、マキシミリアーノ・リケーゼが 40ポイントと続く。

レースは集団のまま完全にチーム NIPPO のペース。グリーンジャージを守るため盤石な動きで集団をコントロールする。

勝負は最後のゴールスプリント勝負。西谷泰治が抜け出し、今大会初めての日本人区間賞を獲得するとともに、個人総合ポイント賞も獲得した。個人総合時間賞はフォルッナート・バリアーニが獲得。チーム総合成績も NIPPO が獲得した。

【競技結果】

第15回ツアー・オブ・ジャパン

(2012/5/20-27堺・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京)



個人総合時間賞

- 1 フォルッナート・バリアーニ PPO-ITA 15:28:26
- 2 ジュリアン・アレドンド・モレノ PPO-COL 15:28:48
- 3 ヤロスラフ・ダブ・ロフスキ AMO-POL 15:31:49
- 4 トマルバ BGT-FRA 15:31:56
- 5 クリス・バトラー CSS-USA 15:35:02
- 6 鈴木 譲 シマルレーシングチーム 15:35:11

ポイント賞

- 1 西谷 泰治 愛三工業レーシングチーム 69p
- 2 マキシミアノ・リケーゼ PPO-ARG 60p
- 3 マリウス・ヴィズィアック MTR-POL 50p

山岳賞

- 1 ジュリアン・アレドンド・モレノ PPO-COL 24p
- 2 フォルッナート・バリアーニ PPO-ITA 23p
- 3 ブレイズ・ソノリー BGT-FRA 13p

チーム賞

- 1 チーム NIPPO 46:34:20
- 2 チャンピオンシステム 46:49:34
- 3 アモレー・エ・ウエイター 46:50:10

第1ステージ (2.65km)

- 1 ウイル・クラーク CSS-AUS 3:19.31
- 2 キャメロン・ワーフ CSS-AUS 3:20.90
- 3 チャン・ジンラ HKG-HKG 3:21.65
- 4 西谷 泰治 愛三工業レーシング 3:21.67
- 5 マウロ・アヘル・リケーゼ PPO-ARG 3:23.29
- 6 マキシミアノ・リケーゼ PPO-ARG 3:24.61

第2ステージ (155.5km)

- 1 マキシミアノ・リケーゼ PPO-ARG 3:49:26
- 2 マリウス・ヴィズィアック MTR-POL 3:49:26
- 3 ショー・パトリック GEN-AUS 3:49:26
- 4 マウロ・アヘル・リケーゼ PPO-ARG 3:49:26
- 5 マグシム・アウエリン AMO-UKR 3:49:26
- 6 西谷 泰治 愛三工業レーシング 3:49:26

第3ステージ (148.0km)

- 1 ジュリアン・アレドンド・モレノ PPO-COL 3:58:37
- 2 フォルッナート・バリアーニ PPO-ITA 3:58:37
- 3 トマルバ BGT-FRA 3:59:56
- 4 ヤロスラフ・ダブ・ロフスキ AMO-POL 3:59:56
- 5 キャメロン・ワーフ CSS-AUS 4:00:31
- 6 鈴木 譲 シマルレーシングチーム 4:00:31

第4ステージ (11.4km)

- 1 フォルッナート・バリアーニ PPO-ITA 40:23
- 2 ジュリアン・アレドンド・モレノ PPO-COL 40:42
- 3 クリス・バトラー CSS-USA 41:21
- 4 ヤロスラフ・ダブ・ロフスキ AMO-POL 42:07
- 5 トマルバ BGT-FRA 42:21
- 6 増田 成幸 宇都宮ブリッツェン 42:33

第5ステージ (146.4km)

- 1 ワン・カンポー HKG-HKG 4:32:10
- 2 ジャオ・ペンダ CSS-CHN 4:32:12
- 3 シュー・ガン CSS-CHN 4:32:14
- 4 ブレイズ・ソノリー BGT-FRA 4:32:21
- 5 ヤン・インホン・ロナルド HKG-HKG 4:32:37
- 6 フォルッナート・バリアーニ PPO-ITA 4:33:17

第6ステージ (112.7km)

- 1 西谷 泰治 愛三工業レーシング 2:23:21
- 2 マキシミアノ・リケーゼ PPO-ARG 2:23:21
- 3 マグシム・アウエリン AMO-UKR 2:23:21
- 4 アディク・オスマン CSS-MAS 2:23:21
- 5 ショー・パトリック GEN-AUS 2:23:21
- 6 マリウス・ヴィズィアック MTR-POL 2:23:21

第81回全日本アマチュア自転車競技選手権トラック・レース



従来JOCジュニアオリンピックカップと併催されていた全日本アマチュア選手権トラック・レースが、今年から単独開催となり、再来年国体開催を控える長崎県の佐世保競輪場で5月26日・27日に開催された。

【競技結果】

第81回全日本アマチュア自転車競技選手権大会
トラック・レース(2012/5/26-27 長崎・佐世保)

スプリント

- 1 橋本 凌甫 東京 日本大
- 2 佐伯 亮輔 鳥取 倉吉西高
- 3 野口 正則 奈良 鹿屋体育大

1km タイムトライアル

- 1 佐伯 亮輔 鳥取 倉吉西高 1:07.689
- 2 野口 裕生 東京 中央大 1:08.169
- 3 栗田 万生 石川 順天堂大 1:08.618

ケイリン

- 1 奥村 諭志 岡山 鹿屋体育大
- 2 浜地 一徳 京都 日本大
- 3 池野 健太 兵庫 中央大

4km 個人追抜競走

- 1 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育 4:47.360
- 2 窪木 一茂 和歌山 和歌山県 4:48.369
- 3 矢野 智哉 岐阜 朝日大 4:48.775

スクラッチ

- 1 三浦 康嵩 青森 早稲田大
- 2 緑川 竣一 福島 中央大
- 3 一丸 尚伍 大分 EQADS

ポイントレース

- 1 高士 拓也 三重 中央大 33p
- 2 長瀬 幸治 埼玉 鹿屋体育大 28p
- 3 窪木 一茂 和歌山 和歌山県 28p

ムコム

- 1 長瀬 幸治 埼玉 鹿屋体育大 17p
- 2 雨宮 正樹 山梨 日本大 18p
- 3 近谷 涼 富山 日本大 20p

チームスプリント

- 1 三重 松本・廣田・堀田 1:19.780
- 2 学連 森・橋本・坂本 1:19.991
- 3 長崎 緒方・瀬戸・尾下 1:23.085

団体追抜競走

- 1 岐阜 高橋・矢野・橋本・渡邊 4:27.638
- 2 和歌山 山本・窪木・和田・北村 4:30.527
- 3 福島 我妻・久保田・緑川・金内 4:35.213

女子500m タイムトライアル

- 1 小島 蓉子 千葉 日本体育大 37.954
- 2 吉川 美穂 和歌山 CB あさひ 38.579
- 3 古河 麻美 福島 日本体育大 39.132

女子3km 個人追抜競走

- 1 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育 3:58.269
- 2 萩原麻由子 和歌山 CB あさひ 3:58.919
- 3 上野みなみ 青森 鹿屋体育 3:59.725

女子ポイントレース

- 1 萩原麻由子 和歌山 サイカバースあさひ 38p
- 2 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 20p
- 3 小島 蓉子 千葉 日本体育大 14p

第1回トラック・タイムトライアル・チャレンジ



渡邊が200FTTで9秒979の日本新!

第1回トラック・タイムトライアル・チャレンジが4月22日、群馬県のグリーンドーム前橋で開催された。

ロンドンオリンピックが近づき、選手のモチベーションが高まる中、200m フライングタイムトライアルで日本新記録が続出、男子では渡邊一成が9秒979と遂に10秒を切り、女子では前田佳代乃が11秒237を出し、記念すべき第1回大会となった。

【競技結果】

第1回トラック・タイムトライアル・チャレンジ
(2012/4/22 群馬・グリーンドーム前橋)

200m フライングタイムトライアル・男子エリート

- 1 渡邊 一成 JPCA JCF 強化 9.979
- 2 中川誠一郎 JPCA JCF 強化 10.040
- 3 雨谷 一樹 JPCA JCF 強化 10.120

200m フライングタイムトライアル・男子ジュニア

- 1 栗田 万生 石川 順天堂大学 11.126
- 2 荒井 佑太 宮城 仙台商業高 11.429
- 3 鈴木 康平 静岡 星陵高等学 11.564

200m フライングタイムトライアル・女子エリート

- 1 前田佳代乃 鹿児島 JCF 強化 11.237
- 2 石井 寛子 東京 JCF 強化 11.595
- 3 加瀬加奈子 新潟 JCF 強化 11.648



200m フライングタイムトライアル・女子ジュニア

- 1 三宅 玲奈 岡山 - 12.818
- 2 細田 愛未 埼玉 川越工業高 13.209

250m タイムトライアル・男子エリート

- 1 雨谷 一樹 JPCA JCF 強化 18.103
- 2 新田 祐大 JPCA JCF 強化 18.407
- 3 和田真久留 JPCA JCF 強化 18.812

250m タイムトライアル・男子ジュニア

- 1 栗田 万生 石川 順天堂大学 19.483

250m タイムトライアル・女子エリート

- 1 前田佳代乃 鹿児島 JCF 強化 20.166
- 2 石井 寛子 東京 JCF 強化 20.675
- 3 渡辺ゆかり 山梨 JCF 強化 20.677

250m タイムトライアル・女子ジュニア

- 1 三宅 玲奈 岡山 - 21.862

- 2 細田 愛未 埼玉 川越工業高 22.429

500m タイムトライアル・女子エリート

- 1 前田佳代乃 鹿児島 JCF 強化 35.587
- 2 加瀬加奈子 新潟 JCF 強化 36.993
- 3 渡辺ゆかり 山梨 JCF 強化 37.217

500m タイムトライアル・女子ジュニア

- 1 三宅 玲奈 岡山 - 39.498
- 2 細田 愛未 埼玉 川越工業高 40.886

1km タイムトライアル・男子エリート

- 1 坂本 貴史 JPCA JCF 強化 1:05.373
- 2 稲毛 健太 JPCA JCF 強化 1:05.383
- 3 末木 浩二 山梨 日本大学 1:06.936

1km タイムトライアル・男子ジュニア

- 1 栗田 万生 石川 順天堂大 1:09.116
- 2 鈴木 康平 静岡 星陵高校 1:09.324
- 3 荒井 佑太 宮城 仙台商高 1:12.144

2km タイムトライアル・女子ジュニア

- 1 三宅 玲奈 岡山 - 2:42.086
- 2 細田 愛未 埼玉 川越工高 2:43.563

3km タイムトライアル・男子ジュニア

- 1 鈴木 康平 静岡 星陵高校 3:34.126
- 2 荒井 佑太 宮城 仙台商高 3:43.042

3km タイムトライアル・女子エリート

- 1 加瀬加奈子 新潟 JCF 強化 3:46.414
- 2 上野みなみ 青森 JCF 強化 3:53.680
- 3 萩原麻由子 和歌山 CB あさひ 3:53.784

4km タイムトライアル・男子エリート

- 1 橋本 英也 岐阜 鹿屋体大 4:41.881
- 2 窪木 一茂 和歌山 JCF 強化 4:45.725
- 3 長瀬 幸治 埼玉 鹿屋体大 4:47.651

第37回チャレンジサイクルロードレース大会

2年ぶりの開催



A-E の先頭集団、先頭が優勝の菅野



A-J の先頭集団

【競技結果】

第37回チャレンジサイクルロードレース大会
(2012/4/8 静岡・日本CSC)

A-E (59km)

- 1 菅野 正明 東京 VAX R. 1:38:19.14
- 2 長沼 隆行 栃木 VAX R. 1:38:27.48
- 3 森本 誠 愛知 伊ノ山 1:38:32.30
- 4 原 充弘 神奈川 竹芝サイクル 1:38:32.34
- 5 若松 達人 東京 AcquaTama 1:38:36.04
- 6 安井 雅彦 東京 東京大 1:42:09.75

A-U (39km)

- 1 雨宮 正樹 山梨 日本大 1:03:37.46
- 2 山本 隼 山梨 中央大 1:03:39.66

- 3 吉岡 直哉 京都 京都産大 1:03:40.14
- 4 鍵本 大地 広島 京都産大 1:03:41.80
- 5 倉林 巧和 群馬 日体大 1:03:44.00
- 6 和田 力 和歌山 日本大 1:03:45.24

A-J (39km)

- 1 山本 大喜 奈良 榛生昇陽 1:04:22.04
- 2 西村 大輝 東京 昭和第一 1:04:22.10
- 3 横山 航太 長野 篠ノ井高 1:04:23.48
- 4 橋詰 丈 東京 昭和第一 1:04:23.69
- 5 岡本 隼 和歌山 和歌山北 1:04:24.46
- 6 安原 大生 奈良 榛生昇陽 1:04:26.32

A-M (39km)

- 1 鶴田 和弘 神奈川 アンリテッド 1:08:04.97
- 2 今田 裕一 北海道 DOKYU 1:08:17.25

- 3 江見 之広 東京 オースト 1:08:35.14
- 4 齋藤 敦 北海道 DOKYU 1:09:06.01
- 5 八重澤明広 千葉 SPACE 1:09:10.39
- 6 塚野 満 千葉 オッティモ 1:09:55.09

A-F (19km)

- 1 小島 蓉子 千葉 日体大 37:02.03
- 2 福本 千佳 大阪 同志社大 37:11.57
- 3 小川 美咲 静岡 伊豆総合 37:36.82
- 4 明珍 裕子 岐阜 37:41.56
- 5 前田 路枝 埼玉 シクロクラブ 37:43.71
- 6 谷 伊央里 群馬 前橋育英 37:50.67

A-Fジュニア (19km)

- 1 小川 美咲 静岡 伊豆総合 37:36.82
- 2 谷 伊央里 群馬 前橋育英 37:50.67



A-Uのスタート



A-M の先頭集団、先頭が優勝の鶴田



A-F の先頭集団、先頭が優勝の小島



B-C クラスの子供たち



3 元砂七々美 奈良 榛生昇陽 38:09.05

B-1 (14km)

- 1 小野康太郎 東京 ミタハ`和 24:47.61
- 2 蠣崎 優仁 静岡 伊豆 CSC 25:16.59
- 3 田中 伶青 愛知 桜丘中学 25:20.58

B-2 (24km)

- 1 田村 太一 神奈川 錦城学園高 49:06.60
- 2 内山 雅貴 静岡 spade A 49:06.68
- 3 田保橋 玲 神奈川 都市大付 51:16.32

B-3 (29km)

- 1 中元寺琢磨 東京 シクリスタ 52:01.84
- 2 河合 宏樹 茨城 to Ride 52:58.02
- 3 鈴木 岳志 神奈川 53:39.04

B-4 (24km)

- 1 遠藤 庫央 東京 チーム Fin's 42:46.13
- 2 太田 邦宏 茨城 Windy 43:09.81
- 3 小川 修 三重 デイ`ルティート` 43:50.86

B-5 (14km)

- 1 斉藤 英代 静岡 コヤマ R 24:17.65
- 2 山根 章 神奈川 幼`フレンド` 24:21.92
- 3 波多野隆紹 神奈川 CodePirata 24:31.68

B-6-50 歳代 (14km)

- 1 小野 忠 埼玉 バ`インヒルス` 24:27.04
- 2 増田 謙一 東京 チームオー`バースト` 24:28.66
- 3 野崎 鉄雄 東京 バ`インヒルス` 24:32.58

B-6-60 歳代 (14km)

- 1 伊藤 明 東京 カル`マフレンド` 25:24.26

2 近藤新一郎 東京 なるしま 26:39.79

3 細山 正一 神奈川 UGO R. 26:57.79

B-7 (14km)

- 1 市東 章代 神奈川 UGO R. 29:38.55
- 2 小笠原 恵 愛知 TEAM光 29:46.31
- 3 古山 稀絵 東京 Dreamer 30:21.04

B-C1 (2km)

1 篠島 瑠樹 福井 ステッ` I

B-C2 (3km)

1 佐藤真那也 愛知 三崎小学校

B-C3 (4km)

1 日野 泰静 愛媛 石根小学校 6:52.93

第59回全日本プロ選手権大会トラック・レース

1kmは坂本、スプリントは河端、ケイリンは浅井が勝利!

KEIRIN 00
この大会は競輪の補助金を受けて実施されました



エリミネーション



ケイリン決勝、②が優勝の浅井



スプリント決勝、左が優勝の河端



個抜優勝の網谷



団体追抜優勝の近畿チーム



チームスプリント優勝の中部チーム



なでしこカップ決勝、優勝は⑦中村



1kmTT 優勝の坂本

【競技結果】

第59回全日本7⁰選手権自転車競技大会
トラックレース (2012/5/14 群馬・前橋)

スプリント

- 1 河端 朋之 岡山 中国地区
- 2 金子 貴志 愛知 中部地区
- 3 雨谷 一樹 栃木 関東地区

1km タイムトライアル

- 1 坂本 貴史 青森 北日本地区 1:05.302
- 2 大森 慶一 北海道 北日本地区 1:05.378
- 3 矢口啓一郎 群馬 関東地区 1:05.629

ケイリン

- 1 浅井 康太 三重 中部地区
- 2 松岡 貴久 熊本 九州地区
- 3 平原 康多 埼玉 関東地区

4km 個人追抜競走

- 1 網谷 竜次 香川 四国地区 4:44.406
- 2 山下 一輝 山口 中国地区 4:50.709
- 3 大屋 健司 広島 中国地区 4:51.585

ITMインフォルース

- 1 小林 潤二 群馬 関東地区
- 2 三谷 政史 滋賀 近畿地区
- 3 三谷 将太 滋賀 近畿地区



1km オープン参加、加瀬が日本新達成

チームスプリント

- 1 中部地区 松岡・竹内・森川 1:02.230
- 2 九州地区 小川・北津留・柳詰 1:02.545
- 3 中国地区 前反・大川・大瀬戸 1:02.940

4km 団体追抜競走

- 1 近畿 渡辺航・渡辺+・脇本・鷺田 4:24.992
- 2 九州 安東・小岩・加藤・鈴木 4:27.673
- 3 中部 山口・児玉・吉田・川西 4:28.711

なでしこカップ (女子)

- 1 中村由香里 東京
- 2 加瀬加奈子 新潟
- 3 荒牧 聖未 栃木

— JCF 維持会員のお願い —

本連盟は平成7年5月にプロ、アマ統合によりわが国における自転車競技界を代表する団体として発足して以来、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。今後も自転車競技のさらなる発展を期し、国内大会の充実や国際大会の開催・派遣等活発な事業展開を図る所存です。しかしながら、これら事業活動には多額の経費を要するため、経費節約に努める一方自主財源の増額を図る一環として従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を仰いで参りました。

今年は4年に一度のオリンピックイヤーです。ロンドンオリンピックでのメダル獲得を目標に関係者一同頑張っております。

つきましては、出費ご多端の折誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技のより一層の健全な強化普及・振興のためご支援を賜りますようお願い申し上げます。

維持会費 (平成24年度分) ※ 詳しくはお手数ですが、JCF事務局総務部までお問い合わせください。TEL: 03-3582-3713

個人会員：年額 10,000 円を一口とし、一口以上。 団体会員：年額 50,000 円を一口とし、一口以上。

広報委員会から 広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内

平成14年度より「シクリスムエコー」個別郵送ご希望の方には、郵送手数料の一部をご負担いただいております。平成24年度につきましても、ご負担をお願いすることになりました。皆様のご理解をお願い申し上げます。なお24年度の発行回数は10回を予定しております。また、勝手ながら年度途中でのお申し込みにつきましても、4月号からの1年分とさせていただきます。

平成24年度 1,200 円 (1 年分)

お近くのゆうちょ銀行または郵便局より振替払込をお願いいたします。払込先：「シクリスムエコー 00140-4-152006」

各加盟団体 (都道府県車連) 事務局や一部自転車関連施設にもこれまで通り送付いたしますので、ご来訪できる方はご利用ください。

また、これまで通り、JCF ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。 < <http://www.jcf.or.jp> >

なお、JCF 維持会員 (個人1万円・法人5万円/年間) の皆様へは無料でお送りいたします。

第25回全日本MTB選手権大会

Downhill



Elite Men 優勝の清水



Elite Women 優勝の未政



Junior 優勝の五十嵐



Youth 優勝の加藤



Master 優勝の高羽

【競技結果】

第25回全日本MTB選手権大会
(2012/6/1-2 長野・富士見)

Elite Men Downhill (2.5km)

- 1 清水 一輝 愛知 AKI Fact. 3:39.012
- 2 青木 卓也 東京 GIANT 3:42.409
- 3 九島 勇気 神奈川 玄武 3:43.039



- 4 井本はじめ 兵庫 Transition 3:44.196
- 5 井手川直樹 広島 Devinci 3:45.081
- 6 黒沢 大介 東京 GT/FUST 3:45.556

Elite Women Downhill (2.5km)

- 1 未政 実緒 兵庫 Funfancy 4:09.900
- 2 中川 弘佳 大阪 RingoRoad 4:22.524
- 3 服部 良子 神奈川 FUST 4:25.722



Youth Downhill (2.5km)

- 1 加藤 将来 愛知 Transition 3:55.898
- 2 井岡 佑介 愛知 YKD 4:11.192
- 3 山口 裕介 神奈川 チームウスケ 4:27.947

Master Men Downhill (2.5km)

- 1 高羽英士朗 愛知 Hott Spin 4:06.156
- 2 藤井 敏彦 大阪 リンゴロード 4:08.398
- 3 三山 孝幸 石川 TeamFRS 4:08.792
- 4 望月 克彦 静岡 TeamKids 4:09.841
- 5 栗野宏一郎 岐阜 KYB R. 4:10.331
- 6 三宅 和之 埼玉 重力技研 4:11.571

Junior Men Downhill (2.5km)

- 1 五十嵐優樹 長野 重力技研 3:52.205
- 2 秋吉 圭 東京 RMB 3:54.184
- 3 玉井 航太 埼玉 4:15.143



Cross Country



【競技結果】

第25回全日本MTB選手権大会
(2012/6/3 長野・富士見)

Youth Men XC (8km)

- 1 竹内 遼 長野 GORILLA 34:03.46
- 2 山田 将輝 長野 Limited846 35:43.71
- 3 本田 彬 北海道 GreenGrips 36:07.90

Youth Women XC (8km)

- 1 中村 千鶴 富山 UKYO 44:09.21
- 2 中島 峻歩 山梨 SY-Nak 52:02.17

Junior Men XC (16km)

- 1 沢田 時 滋賀 BS アンカ 1:02:53.57
- 2 前田 公平 東京 Endless 1:04:01.98
- 3 横山 航太 長野 Grow 1:04:31.04

Master Men XC (16km)

- 1 山本 朋貴 滋賀 ストラータ 1:08:11.34
- 2 坂本 昌良 茨城 フォルツァ! 1:08:59.18
- 3 北島 篤志 東京 ckirin 1:09:16.99
- 4 上野 亮 愛媛 INFINIT 1:09:27.50
- 5 古谷 利行 埼玉 セタレクト 1:10:53.01
- 6 市川 啓 愛知 MSC 1:11:06.33

U23 Men XC (20km)

- 1 中原 義貴 大阪 MX 1:23:51.88
- 2 松尾 純 新潟 国際自然 1:26:13.08
- 3 竹本 颯太 愛媛 BSC 1:28:16.73

Elite Women XC (20km)

- 1 片山 梨絵 神奈川 Specialized 1:27:46.47
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 1:36:55.73
- 3 田近 郁美 岐阜 GodHill 1:38:44.74

Elite Men XC (28km)

- 1 山本 幸平 北海道 Specialized 1:41:10.28
- 2 山本 和弘 北海道 キャンデール 1:44:47.07
- 3 斉藤 亮 長野 MERIDA 1:44:58.10
- 4 千田 尚孝 愛知 KHS 1:47:18.91
- 5 小野寺 健 北海道 Specialized 1:47:49.38
- 6 平野 星矢 長野 BS アンカ 1:49:17.09

Youth Women 優勝の中村



Junior Men 優勝の沢田



U23 優勝の中原



Youth Men 優勝の竹内



Master 優勝の山本

2012 年全国トライアル選手権大会

記念すべき第1回大会



エリート 20inch 優勝の寺井



エリート 26inch 優勝の樺澤



女子優勝の胡中



ジュニア 20inch 優勝の飯沼



ジュニア 26inch 優勝の坂

【競技結果】

2012 年全国トライアル選手権大会
(2012/4/15 愛知・新城)

エリート 20inch

1	寺井 一希 埼玉	1
2	柴田 泰嵩 愛知 G-MAGIC	15
3	飯塚 隆太 東京 Gold Rush	16



エリート 26inch

1	樺澤 工 群馬	21
2	梶谷 隆太 岐阜 バイク・ボンバー	24
3	西窪 友海 和歌山	26



女子

1	胡中 理沙 大阪 関西大学	64.5
2	水野 真美 関西大学	71.5

ジュニア 20inch

1	飯沼 裕慧 群馬	6
2	甘利 大斗 長野 トライアルチーム輪道	21.5

ジュニア 26inch

1	坂 元太 東京	89.5
---	---------	------

2012年UCI BMX世界選手権大会



決勝進出ならず



女子エリート三輪

5月25日、2012UCI BMX世界選手権はチャンピオンシップカテゴリーのタイムトライアルが行われ、女子エリートで三輪郁佳が45位に入り、26日に行われる決勝トーナメント進出を決めた。男子ジュニアでも吉井康平が46位のタイムで決勝トーナメントに進出した。男子エリートは三瓶将廣の113位が最高で64位までの決勝トーナメント進出ラインには全員届かなかった。

5月26日。エリート女子の三輪郁佳とジュニア男子の吉井康平が前日のタイムトライアル予選から進出したが、両名とも1回戦で1/4ファイナル進出ラインの4位には届かずレースを終えた。

15、16歳チャレンジクラスのレースも同日開催された。1/4ファイナル以降はチャンピオンシップと同じスケ



男子ジュニア吉井

ジュールのなかで行われ、多数の観客が見守るなかでのレースになった。日本人選手では16歳ガールズの朝比奈綾香(関西BMX競技連盟/大阪)が準決勝まで進出したのが最上位となった。

【競技結果】

2012年UCI BMX世界選手権大会
(2012/5/24-27 イギリス・バーミンガム)

男子エリート

1	WILLOUGHBY Sam AUS	25.923
2	DAUDET Joris FRA	26.766
3	MOO CAILLE Moana FRA	27.471
	三瓶 将廣 神奈川 RED LINE	予選 113位
	長迫 吉拓 岡山	予選 114位
	松下 翼 神奈川 法政大学	予選 118位
	阪本 章史 大阪 TIPTRO	予選 128位
	高橋 堅太 岡山 福山平成大	予選 141位

女子エリート

1	POTTIER Magalie FRA	29.646
2	AILLOUD Eva FRA	29.792
3	LABOUNKOVA Romana CZE	30.442
	三輪 郁佳 広島 伯和	1回戦敗退

男子ジュニア

1	RAMIREZ YEPEZ Carlos Alberto COL	27.511
2	BLYNDLOSS Maliek USA	28.697
3	TRAMIER Léopold FRA	29.384
	吉井 康平 東京 日出高校	1回戦敗退

2012年BMX世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2012年BMX世界選手権大会
派遣日程 2012年5月14日～29日
開催日程 2012年5月24日～27日
開催場所 イギリス・バーミンガム
代表選手団

マネージャー 戸川 祐一(連盟強化スタッフ)

コーチ マーティン・ワード(連盟強化スタッフ)

メカニック 光武 正勝(連盟強化スタッフ)

広報 猪俣 健一(連盟BMX小委員会委員)

医療補助 小室 雅俊(ライラック治療院)

高橋 博(連盟BMX小委員会委員)

選手 松下 翼(神奈川)・高橋 堅太(岡山)・三瓶 将廣(神奈川)

阪本 章史(大阪)・長迫 吉拓(岡山)・吉井 康平(東京)

三輪 郁佳(広島)

2012 ツール・ド・イストリア 日本代表選手団

大会名 2012 ツール・ド・イストリア
(UCIジュニアネイションズカップ)

派遣期間 2012年4月16日～24日

開催期間 2012年4月19日～22日

実施場所 クロアチア

代表選手団

スタッフ 柿木 孝之(JCFジュニア強化育成部会員)

大野 直志(JCFジュニア強化育成部会員)

メカニック 山脇 靖宏(JCFジュニア強化育成支援スタッフ)

選手 徳田 優(京都・北桑田高校)

西村 大輝(東京・昭和一学園高校)

馬渡 伸弥(東京・昭和一学園高校)

小橋 勇利(愛媛・松山工業高校)

小林 泰正(群馬・高崎工業高校)

広瀬 樹(神奈川・横浜高校)

2012 トロフェオ・カールスベク 日本代表選手団

大会名 2012 トロフェオ・カールスベク

派遣期間 2012年5月14日～22日

大会期間 2012年5月17日～20日

大会場所 ドイツ連邦

代表選手団

コーチ 柿木 孝之(JCFジュニア強化育成部会員)

メカニック 山脇 靖宏(JCFジュニア強化育成支援スタッフ)

スタッフ 現地スタッフ 1名

選手 徳田 優(京都・北桑田高校)

馬渡 伸弥(東京・昭和一学園高校)

横山 航太(長野・篠ノ井高校)

岡 篤志(茨城・SPACE ZEROPOINT)

内野 直也(埼玉・湘南ベルマーレ)

広瀬 樹(神奈川・横浜高校)

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

— 平成 23 年度全国地域 大会 —

第 46 回全国地域別自転車道路競争大会 (2011/7/3 北海道・豊富)

個人ロードレース (160km)

- 1 大坪 優介 NSR・道北 4:18:35.36
- 2 藤原 真 DOKYU A 4:20:13.72
- 3 永田 友貴 チーム輪駄 4:26:08.28

第 63 回 関東自転車競技選手権大会 (2011/7/10 東京・立川競輪場)

男子スプリント

- 1 橋本 凌甫 東京 日本大学
- 2 村田 圭 山梨 富士学苑高校
- 3 工藤 薫 埼玉 埼玉県車連

男子 1km タイムトライアル

- 1 末木 浩二 山梨 日本大学 1:08.489
- 2 栗本 尚宗 千葉 柏井高校 1:09.464
- 3 北浦 和人 神奈川 湘南愛輪会 1:09.627

男子ケリツ

- 1 大村 慶二 東京 Hachioji C. Project
- 2 今井 一誠 東京 早稲田大学
- 3 末木 浩二 山梨 日本大学

男子 4km 速度競走

- 1 佐々木 龍 神奈川 早稲田大学 4:43.52
- 2 穂苅 大地 新潟 CLUB SPIRITS
- 3 辻本 翔太 東京 松戸市役所

男子ポイントレース

- 1 保坂陽次郎 茨城 取手第一高校 46p
- 2 小林 泰正 群馬 高崎工業高校 43p
- 3 山本 隼 山梨 中央大学 41p

男子団体追抜競走

- 1 東京 大村・辻本翔・辻本尚・谷口 4:40.572
- 2 栃木 鈴木・平井・小野寺・吉田 4:48.562
- 3 山梨 末木・深沢・雨宮・山本 4:53.011

男子チームスプリント

- 1 山 梨 末木・沼田・飯塚 1:19.710
- 2 茨 城 和田・長内・伊早坂 1:20.343
- 3 神奈川 佐々木・出澤・丸田 1:20.724

女子 500m タイムトライアル

- 1 石井 寛子 茨城 スパ-K 38.035
- 2 丸田 京 東京 法政大学 39.642
- 3 田中 まい 千葉 日本体育大 39.816

女子 2km 個人追抜競走

- 1 井上 玲美 東京 スパ-K 2:37.842
- 2 細田 愛未 埼玉 川越工高 2:43.254
- 3 中村 妃智 千葉 日本体大 2:44.838

女子スクラッチ

- 1 石井 寛子 茨城 スパ-K 14:36.50
- 2 井上 玲美 東京 スパ-K アスリートホク
- 3 小島 蓉子 千葉 日本体育大学

男子総合成績

- 1 東京 38p 2 山梨 36p 3 神奈川 23p

高石杯第46回関東地域自転車道路競走大会 (2011/11/6 新潟・南魚沼)

男子個人ロードレース (71.5km)

- 1 加地 邦彦 東京 なるしま 1:40:40.235
- 2 遠藤 優 千葉 SFIDA 1:40:40.259
- 3 菅野 正明 東京 Fuji 1:40:41.071

高校男子個人ロードレース (71.5km)

- 1 小林 泰正 群馬 高崎工 1:40:40.950
- 2 小野寺 玲 栃木 作新高 1:41:10.580
- 3 片桐 善也 新潟 吉田高 1:41:10.985

高校男子オープン個人ロードレース (71.5km)

- 1 小山 貴大 群馬 Eqads 1:40:46.024
- 2 橋詰 丈 東京 Eqads 1:41:16.404

女子個人ロードレース (33.0km)

- 1 柳本 愛奈 山梨 笛吹高 6 59:19.862
- 2 赤塚友梨恵 埼玉 R G J 6 59:23.238
- 3 堀 友紀代 神奈川 R G J 6 59:23.591

平成23年度中部8県対抗自転車競技大会 第43回中部8県対抗自転車競技選手権大会 第45回中部8県対抗自転車競技大会道路競走 (2011/9/17-18 三重・松阪競輪場 / 鈴鹿ツインサーキット)

少年男子スプリント

- 1 富田 拓海 岐阜
- 2 木下 健太 福井
- 3 上條 陽平 長野

成年男子スプリント

- 1 渡邊 浩幸 岐阜
- 2 廣田 敦士 三重
- 3 天池 哲也 石川

少年男子 1km タイムトライアル

- 1 栗田 万生 石川 1:07.46
- 2 相馬 義宗 岐阜 1:08.49
- 3 広瀬 元輝 福井 1:10.12

成年男子 1km タイムトライアル

- 1 加藤 良治 岐阜 1:07.39
- 2 碓 優太 福井 1:09.27
- 3 深瀬 泰我 静岡 1:09.48

少年男子ケリツ

- 1 長屋 剛 岐阜
- 2 堀田 海人 三重
- 3 川畑 幸大 愛知

成年男子ケリツ

- 1 赤澤 健 長野
- 2 松本 諒太 三重
- 3 宮腰 諒 福井

少年男子 4km 速度競走

- 1 高士 拓也 三重 4:47.23
- 2 渡邊翔太郎 岐阜 4:47.48
- 3 吉川 希望 石川 4:53.60

成年男子 4km 速度競走

- 1 矢野 智哉 岐阜 5:10.50
- 2 中根 英登 愛知 5:18.07
- 3 阿曾 圭佑 三重 5:22.21

少年男子ポイントレース (24km)

- 1 橋本 英也 岐阜 91p
- 2 寺崎 浩平 福井 42p
- 3 廣瀬 徳之 岐阜 39p

成年男子ポイントレース (24km)

- 1 榊原 健一 愛知 48p

- 2 佐野 伸弥 岐阜 34p
- 3 矢次 栞 愛知 31p

男子チームスプリント

- 1 岐阜 佐野・渡邊・相馬 1:19.19
- 2 三重 阿曾・堀田・高士 1:20.15
- 3 福井 寺崎・末本・木下 1:21.51

男子団体追抜競走

- 1 岐阜 高橋・矢野・橋本・加藤 4:28.58
- 2 福井 宮腰・廣瀬・秋田・碓 4:36.59
- 3 愛知 木村・中根・榊原・山本 4:38.70

女子 500m タイムトライアル

- 1 小川 美咲 静岡 40.07
- 2 浅田 愛理 愛知 41.49
- 3 伊東 小紅 静岡 43.06

少年女子 2km 個人追抜競走

- 1 小川 美咲 静岡 2:49.80
- 2 浅田 愛理 愛知 2:54.27
- 3 中嶋 綺砂 三重 2:55.48

成年女子 3km 個人追抜競走

- 1 明珍 裕子 岐阜 4:08.89

男子個人ロードレース (52.5km)

- 1 榊原 健一 愛知 1:17:37.35
- 2 中根 英登 愛知 1:17:37.57
- 3 寺崎 浩平 福井 1:19:14.45

女子個人ロードレース (26.25km)

- 1 伊東 小紅 静岡 45:36.88
- 2 明珍 裕子 岐阜 47:03.42
- 3 浅田 愛理 愛知 47:24.35

県別対抗成績

- 1 岐阜 133p 2 愛知 95p 3 福井 91p

第 43 回近畿地域自転車競技選手権大会 (2011/11/13 奈良・奈良競輪場)

男子スプリント

- 1 井上 大輔 大阪 茨木工科高
- 2 堀 僚介 大阪 興国高
- 3 斎藤 大樹 京都 北桑田高

男子 1km タイムトライアル

- 1 井田 圭馬 和歌山 紀北工高 1:09.81
- 2 森 一馬 和歌山 日本大学 1:09.99
- 3 辻 晃平 京都 北桑田高 1:11.51

成年男子ケリツ

- 1 森 一馬 和歌山 日本大学
- 2 濱口 智貴 兵庫 大阪経済大
- 3 姫野 正志 兵庫 POLPO

少年男子ケリツ

- 1 井上 大輔 大阪 茨木工科高
- 2 井田 圭馬 和歌山 紀北工高
- 3 松下 稔 京都 北桑田高

男子 4km 速度競走

- 1 山本 貴洋 和歌山 県紀北工高教
- 2 中野尻 祥 和歌山 和歌山北
- 3 安原 大生 奈良 榛生昇陽高校

男子ポイントレース (24km)

- 1 安原 大生 奈良 榛生昇陽高校 31p
- 2 岡本 隼 和歌山 和歌山北 22p
- 3 中野尻 祥 和歌山 和歌山北 14p

男子チームスプリント

- 1 和歌山 森・井田・瀬越 1:07.84
- 2 奈良 根井・宮地・仲村 1:09.83
- 3 兵庫 川元・足立・安積 1:11.57

男子 4km 団体追抜競走

- 1 和歌山 山本・岡本・中野尻・狭間 4:34.05
2 京都 松下・辻・田中・岩佐 4:45.49

女子 500m タイムトライアル

- 1 黒田 彩夏 兵庫 明石西高 40.04
2 坂口 聖香 兵庫 Ready GO J. 41.63
3 菱田恵美子 滋賀 ストラダレーシング 44.83

女子 2km 個人追抜競走

- 1 中村 友香 奈良 奈良北高 2:42.34
2 山本 レナ 京都 北桑田高 2:48.25
3 黒田 彩夏 兵庫 明石西高 2:48.75

第46回全国地域別自転車道路競走大会
近畿地域大会(2011/5/29 京都・美山町)

男子リト (60km)

- 1 西沢 倭義 京都 明治大学1:27:16.07
2 秋山 尚徳 大阪 Ganwell 1:27:41.75
3 岡崎 陽介 兵庫 CiervoNara 1:28:00.39

男子 U23 (60km)

- 1 水間 健 大阪 スクアトラ 1:28:01.08
2 北中 悠貴 奈良 関西大学1:28:03.41
3 大菅 順弥 京都 同志社大1:28:27.27

男子マター (60km)

- 1 松木 健治 大阪 シムスト 1:28:01.52
2 山本 良介 京都 Ganwell 1:28:02.22
3 渡邊 哲平 京都 カガワAS1:28:02.89

平成23年度中国地域自転車競走選手権大会
トラック競技(2011/9/4 島根・大田自転車競技場)

スプリント

- 1 安本 昇平 山口
2 樋口 佳佑 山口
3 岩田 宗也 広島

1km タイムトライアル

- 1 岡田 真 島根 1:09.81
2 久保田泰弘 山口 1:12.10
3 安本 昇平 山口 1:12.31

ケリソ

- 1 田口 哲史 島根
2 安光 亮 山口
3 高橋 伸二 岡山

チームスプリント

- 1 島根 山下・大谷・田口 1:11.81
2 広島 岩田・石橋・山下 1:13.57

4km 団体追抜競走

- 1 山口 安本・久保田・白川・相本 4:45.70
2 島根 岡田・深津・大谷 4:59.73
3 広島 岩田・石橋・寺岡・山下 5:14.25

ポイントレース (16km)

- 1 白川 巧 山口 38p
2 深津 智広 島根 15p
3 相本 祥政 山口 13p

第46回中国地域自転車道路競走大会
(2011/6/19 島根・さくらおろち湖)

成年男子 (98.4km)

- 1 白石 真悟 山口A 2:46:25.16
2 山根 理史 島根A 2:47:58.54
3 大谷岡史郎 島根A 2:48:06.75

成年男子団体成績

- 1 島根A 山根・大谷岡・松本 5p
2 山口A 白石・西川・井上 9p

- 3 広島A 丸本・石堂・伊藤 14p

少年男子 (98.4km)

- 1 大村 恒平 防府商 2:54:54.88
2 大野 宏樹 広島城北 2:55:01.34
3 谷口 武史 崇徳 2:55:28.06

少年男子団体成績

- 1 広島城北 大野・石橋・山下・岩田・松浦 10p
2 崇徳 谷口・中西・海老本・竹本・引宇根 13p
3 岡山工 多田・足立・三宅幸・三宅勇・浅尾 17p

第43回四国地域自転車競走選手権大会
(2011/11/13 徳島・小松島競輪場)

男子スプリント

- 1 高山 雄丞 愛媛 松山聖陵高校
2 小松 正典 高知 パントサイクルワークス TT
3 森 悠汰 高知 土佐高校

男子 1km タイムトライアル

- 1 山口 力人 高知 高知工業高 1:14.10
2 大池 恭平 高知 城山高校 1:14.62
3 小松 正典 高知 パントサイクル 1:15.48

男子ケリソ

- 1 門田 凌 愛媛 松山聖陵高校
2 山地 大介 香川 香川県立農業大学校
3 大古 利一 徳島 淡路平成会平成病院

男子 4km 速度競走

- 1 山田 哲治 高知 パントサイクル 5:10.94
2 宮内 渉愛 媛松 山聖陵高校
3 原 良太 徳島 徳島大学

男子スクラッチ (8km)

- 1 青野 将大 香川 高松工芸高10:41.16
2 福留 康介 高知 環太平洋大学
3 山本 黎 高知 高知東工業高校

男子ポイントレース (24km)

- 1 山田 哲治 高知 パントサイクルワークス 29p
2 田尾 駿介 高知 明治大学 27p
3 宮内 渉愛 媛松 山聖陵高校 23p

男子チームスプリント

- 1 愛媛 宮内・高山・門田 1:22.58
2 高知 小松・山口・森 1:24.27
3 徳島 唐渡・射場・二階 1:27.30

男子 4km 団体追抜競走

- 1 香川 山地・内原・青野・中井 4:53.07
2 高知 山田・田尾・山本・大池 4:53.56
3 徳島 木戸・榎脇・原・藤井 5:15.72

女子 500m タイムトライアル

- 1 日野 友葵 愛媛 丹原高校 43.30

ジュニア女子 2km 個人追抜競走

- 1 日野 友葵 愛媛 丹原高校 2:56.65

第36回四国地域自転車道路競走大会
(2011/10/30 香川・宝山湖)

リトクラ

- 1 生田 憲司 徳島 四国加工 1:04:22.474
2 森兼 賦 徳島 エコエール1:04:22.913
3 近藤 光明 徳島 エコエール1:05:43.601

U-23 クラス

- 1 藤岡 克磨 徳島 ヲノ和 1:03:25.028
2 小西 遥久 愛媛 立教大 1:04:20.727
3 福留 康介 高知 環太平 1:07:21.348

ジュニアクラス

- 1 宮内 渉 愛媛 松山聖 1:03:25.915

- 2 日野林 雄大 愛媛 松山工 1:03:46.280

- 3 岩橋 洸弥 香川 石田高 1:03:49.757

団体成績

- 1 愛媛B 宮内・日野林・小西 5p
2 徳島C 近藤・生田・森兼 13p
3 香川C 岩橋・津山・池内 21p

平成23年度九州地域自転車競走大会

平成23年度九州地域自転車トラック競走大会

第44回九州地域自転車道路競走大会

(2011/9/23-26 熊本・熊本競輪場/オクトリス)

男子スプリント

- 1 橋本 瑠偉 佐賀 龍谷
2 古庄 豊全 熊本 日本大学
3 森田賢多郎 佐賀 龍谷

男子 1km タイムトライアル

- 1 野口 裕生 熊本 中央大学 1:09.189
2 福沢 涼太 熊本 日本体育大1:10.033
3 橋本 瑠偉 佐賀 龍谷 1:10.035

男子ケリソ

- 1 前田 元気 佐賀 龍谷
2 森田賢多郎 佐賀 龍谷
3 福沢 涼太 熊本 日本体育大学

男子 4km 速度競走

- 1 小山真太郎 熊本 日本大学 4:53.20
2 山口 龍也 長崎 鹿町工業
3 瓜生 崇智 熊本 九州学院

男子スクラッチ

- 1 小山真太郎 熊本 日本大学 11:00.17
2 緒方 颯 大分 日出陽谷
3 塚本潤一郎 大分 別府商業

男子ポイントレース

- 1 住吉 宏太 熊本 日本大学 25p
2 大庭 伸也 宮崎 都城工業 (教) 19p
3 山口 龍也 長崎 鹿町工業 16p

男子チームスプリント

- 1 熊本 野口・古庄・藤森 50.394
2 佐賀 橋本・森田・前田 51.442
3 福岡 馬場・竹元・小早川 53.034

男子 4km 団体追抜競走

- 1 熊本 住吉・福沢・田上・曾我 4:47.810
2 大分 清水・佐保・黒枝・塚本 4:53.120
3 長崎 瀬戸・岩本・山口・澤池 4:54.343

男子ロードレース

- 1 黒枝 士揮 大分 鹿屋体育大 2:35:18
2 住吉 宏太 熊本 日本大学 2:36:08
3 伊藤 翼 福岡 久工大 2:37:40

女子 500m タイムトライアル

- 1 江藤里佳子 大分 別府商業 40.452
2 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅 43.080
3 古島 彩花 熊本 千原台 43.837

女子スプリント

- 1 江藤里佳子 大分 別府商業 13.450
2 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅 13.832
3 古島 彩花 熊本 千原台 14.653

女子 2km 個人追抜競走

- 1 江藤里佳子 大分 別府商業 2:47.721
2 古島 彩花 熊本 千原台 2:58.393
3 蜂須賀杏南 鹿児島 南大隅 3:03.026

総合成績

- 1 熊本 103p 2 大分 59p 3 佐賀 55p

第12回 JBCFトラック記録会 (2012/4/1 伊豆パドーム)

男子スプリント

- 1 田村 武士 JPCA CLUBSPIRITS
- 2 神田 龍 三重 Phosphorus 松阪
- 3 金子 幸央 栃木 Namazu + Tochigi

男子1kmタイムトライアル

- 1 田村 武士 JPCA Clubspirits 1:08.672
- 2 神田 龍 三重 Phosphorus 1:09.888
- 3 柁原 翔太 JPCA 湘南愛輪会 1:10.390

男子4km個人追抜競走

- 1 林 航平 神奈川 Hammer!! 5:02.159
- 2 田村 武士 JPCA Clubspirits 5:03.010
- 3 伊地 裕磨 沖縄 KENSIN 5:12.060

男子ケイリン

- 1 市川 英昭 神奈川 湘南愛輪会
- 2 大村 慶二 東京 Team Logisty Jack
- 3 林 竜広 愛知 チーム・チェアロ

男子ポイントレース(20km)

- 1 善波 昭 東京 Logisty Jack 37p
- 2 伊地 裕磨 沖縄 Team KENSIN 19p
- 3 笠井 泰造 東京 Super-K Athlete 14p

男子団体追抜競走

- 1 Logisty Jack 斎藤・善波・山崎・大村 4:52.066

男子チームスプリント

- 1 湘南愛輪会A 亀山・北浦・柁原 51.261
- 2 Namazu+Tochigi 金子・福田・萩原 52.304
- 3 チーム・チェアロ 石井・高橋・藤田 54.009

女子500mタイムトライアル

- 1 和田 里沙 神奈川 湘南愛輪会 41.568
- 2 濱田 真子 東京 湘南愛輪会 41.772
- 3 古山 稀絵 東京 Super-K 44.864

女子3km個人追抜競走

- 1 濱田 真子 東京 湘南愛輪 4:21.725
- 2 古山 稀絵 東京 Super-K 4:34.876

第1回 JBCF チームT.T. in 南紀白浜 (2012/4/7 和歌山・南紀白浜空港)

チームT.T.(15.00km)

- 1 cannondale spacezeropoint 20:00.33
小室・鈴木・遠藤・高田・原川・ルカ
- 2 TeamUKYO 20:02.40
狩野・清水・辻善・太田・斉藤・薫田
- 3 宇都宮ブリッツェン 20:20.12
廣瀬・普久原・中村・増田・初山・飯野
- 4 Ciervo Nara Procylingteam 20:50.28
辻貴・大塚・澤田・中西
- 5 パールイズミ・ミスターハロー 20:50.54
角田・梅尾・高塚・大久保・上村・藤岡
- 6 Team MASSA-ANDEX 20:55.87
佐藤・丸山・中里・皿屋・伊藤・水野

連盟の動き (4月上旬～6月下旬)

- | | |
|------------------------------|--|
| 4月16日 ツール・ド・イストリア日本代表選手団出発 | 於：クロアチア 帰国→4/24 |
| 27日 平成24年度第1回競技運営委員会 | 於：岩手・八幡平市(～29日) |
| 5月1日 平成24年度第1回選手強化本部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 1日 ロンドン五輪・パラリンピック代表候補記者会見 | 於：東京・自転車会館イベントホール |
| 3日 第4回ジュニア強化育成トレーニングキャンプ | トラック 静岡/ロード 青森(～7日) |
| 7日 ロンドン五輪 トラック短距離強化合宿 京都合宿 | 5/7～12, 5/21～26, 6/5～6/9 |
| 14日 ロンドン五輪 トラック短距離強化合宿 静岡合宿 | 5/14～18, 5/29～6/2, 6/12～6/21, 6/25～6/29, 7/14～7/21 |
| 14日 2012年BMX世界選手権大会代表選手団出発 | 於：イギリス・パーミンガム 帰国→5/29 |
| 14日 2012トロフェオ・カールスベク代表選手団出発 | 於：ドイツ 帰国→5/22 |
| 17日 第1回国内ロードU23強化合宿 | 於：千葉・鴨川(～20日) |
| 6月2日 2012年ツアー・オブ・シンカラ代表選手団出発 | 於：インドネシア・パドン 帰国→6/10 |
| 4日 ロンドン五輪MTB・女子ロード代表候補記者会見 | 於：東京・シクロ鳩森スタジオ |
| 8日 平成24年度第1回総務委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 12日 平成24年度第1回常務理事会・選手強化本部会 | 於：東京・日本自転車会館3号館11階 |
| 21日 平成24年度第1回理事会 | 於：東京・日本自転車会館3号館11階 |
| 23日 平成24年度第1回アンチ・ドーピング委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 25日 オリンピック前ロード女子強化合宿 | 於：千葉・鴨川(～29日) |
| 27日 平成24年度第1回評議員会 | 於：東京・日本自転車会館2号館8階 802会議室 |





日本新記録

■ フライングスタート・200m

男子エリート	10秒003	中川誠一郎 (JPCA・JPCU熊本)	2012/04/06	オーストラリア・メルボルン
男子エリート	10秒159	渡邊 一成 (JPCA・JPCU福島)	2012/04/06	オーストラリア・メルボルン
男子エリート	9秒979	渡邊 一成 (JPCA・JCF強化)	2012/04/22	群馬・グリーンドーム前橋
女子エリート	11秒402	前田佳代乃 (鹿児島・鹿屋体育大学)	2012/04/05	オーストラリア・メルボルン
女子エリート	11秒237	前田佳代乃 (鹿児島・JCF強化)	2012/04/22	群馬・グリーンドーム前橋

■ スタンディングスタート・1km

女子エリート	1分10秒053	加瀬加奈子 (新潟)	2012/05/14	群馬・グリーンドーム前橋
--------	----------	------------	------------	--------------

■ スタンディングスタート・3km

女子エリート	3分42秒145	加瀬加奈子 (新潟・日本競輪学校)	2012/04/07	オーストラリア・メルボルン
--------	----------	-------------------	------------	---------------

■ スタンディングスタート・3km団体

女子エリート	3分31秒165	日本 (加瀬加奈子、田畑真紀、上野みなみ)	2012/04/05	オーストラリア・メルボルン
--------	----------	-----------------------	------------	---------------

■ 男子チーム・スプリント・250m×3

男子エリート	43秒896	日本 (雨谷一樹、渡邊一成、中川誠一郎)	2012/04/04	オーストラリア・メルボルン
--------	--------	----------------------	------------	---------------

■ 女子チーム・スプリント・250m×2

女子エリート	35秒301	日本 (前田佳代乃、石井寛子)	2012/04/04	オーストラリア・メルボルン
--------	--------	-----------------	------------	---------------

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
7月28日～8/12	第30回オリンピック競技大会	RR/TR/BMX/MTB	イギリス/ロンドン
7月29日～8/1	平成24年度全国高等学校総合体育大会	RR/TR	新潟/南魚沼・弥彦村
7月29日	第43回JBCF東日本トラック	TR	静岡/伊豆ベロドローム
8月11日～12日	2012年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	TR	静岡/日本CSC伊豆ベロドローム
8月16日～19日	2012年マウンテンバイク・アジア選手権大会	MTB	レバノン/Baskinta
8月18日	JBCF湾岸クリテリウム2012	RR	東京/江東区青海
8月19日	全日本学生RCS第5戦お台場サイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	RR	東京/江東区青海
8月22日～26日	2012年UCIジュニアトラック世界選手権大会	TR	ニュージーランド/インバーカーギル
8月24日～26日	第15回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	TR	静岡/伊豆ベロドローム
8月25日～26日	マウンテンバイクチャレンジ ダウンヒルin野沢温泉 J1/DHI#3	MTB	長野/野沢温泉
8月26日	第29回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会	RR	三重/鈴鹿

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業



15th TOUR OF JAPAN



第2ステージ(美濃)スタート地点、卯建の街並み



第3ステージ(南信州)天竜川沿いのパレード



第5ステージ(伊豆)競輪学校の女子が応援

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.191 2012年4~6月合併号

発行/財団法人日本自転車競技連盟
 発行人/大島研一
 編集人/塚本芳大
 編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局
 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内
 TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>

